

ようこそ Side by Side

第79号

編集責任：三好

編集担当者

大岩・三好

き水いたなりました。

8/25(火)、釜石市箱崎町は45名で活動。1つ
の班は仮宿地区の家屋整理（基礎工事含めて）。
3つの班は箱崎地区の高層を一軒ずつ分担、三軒
お同時に進めます。4つの家庭ともたいてい草
な家屋整理で、向日下りの暑い日軽いの中、ボラ
ンティアのみんなは奮闘。仮宿は本日もて
けて掃除までして終了。10名の男性ボランティアは、
満足感をもって仮宿をあとにしました。（海岸防護工事も）
箱崎地区は5月に入った寒波風雪家の発生
で、一度女性がおられたので、あわてて、とても喜んで
ありました。

ボランティア・センターの代表例 になるのでは。

仮宿地区で昼食時、一人の男性ボランティアが話
されました。「遠野まごころネットは、どこも組織化されて
おり、この多大なボランティアの方々を見事に各活動に配
属。ひょとすると東日本大震災の代表的ボランティアセンター
となり、今後のV.Cのモデルになることは十分可能。
ボランティアが流行だから自分でやる、という人が増えました。

正比例してモテルの低下がひげい!!

例えは、23:00シャワー終了時にまだ入っている。23
時は施錠なのに鍵をかけられたり。従って世話を
の誰かが寝られたり。ここはホーリーではないのです!!
貸付の時、わたして2枚半の室内ハシゴを空談して
ルームを出て、体育館・和室の生活をしていた
だけです。自分がやるとどうボランティアの基本精神を
發揮して下さい。まごころをこころす、ヒツジ貢献はやめましょう。

※

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

六代目世話役
(61人)

川邊周士さん

京都 在企

悔い思ひをしまじ。

阪神大震災の時、大阪の専門学校に行きました。
伊丹や神戸市内に知人が多かった。アパートの一室を
片づけたり、被災者宅を訪ねて家屋整理したり。(当時は頭出し
性はなく、独自に一から一歩一歩していった。) ボランティア活動
では、泊っていたが交通機関が動き出してくれたりがよかったです。
のちに知ったのが高校のアート部の後輩がやけにボラン
ティア車で、「自分は何でいる」と思ふ私に自殺した。

自分のボランティアの体験駆験、後輩のことから何でも
お尋ねください思ひをしまじ。

3.11大震災が発生するとEDMにボランティアへ行く
ことを即決にしてしまう。だが、個人ボランティアを食べ入れ、3泊4日
設備をもつボランティアセンターを見つかり。4月砲心より
やく遠野まごころネットにてリツキました。GW明けた五
月は人數が増えたうえと思いつき、5/8に到着。釜石、南浦
高田の現場へ向む、森さんに手を貸さう。六代目世話役
に引受けられました。途中、二度がえりでござり、6月25
日(8/25)まで一日も休みなく活動していました。

ボランティアの方々の変化が顕著です。私がせざる役
始めた頃は、「自分は何かできることないか」という強い意
志を持って平らなオマケなどとててて。逆に重い、の差
借完全②ボランティア街へ入り③観光支分④がが

★ / ()ボランティアミーティングはPM15:30～②体育館

8/28(日)の宿泊:148人、活動:274人

8/29
(月)
天氣
11時 晴気温
高/23°C

低/17°C

降水
確率
30%